

3. 会議事項

- ・中央新幹線建設工事に伴う発生土運搬について

(1) 町からJR東海へ提出の要望書

『発生土運搬に関する要望書』提出までの経過

●地元住民への説明

年 月 日	内 容
令和2年 6月下旬	JR東海より松川町内を通過する発生土運搬計画が示される
8/6, 9/1	沿線5地区代表者との打合せ
令和3年 10月 ～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線5地区（古町・上新井・名子・大島・上片桐地区） ・沿線事業所 ・小中学校PTA代表、保育園保護者会代表 ・商店経営者 への説明 [計11回]

●各種団体からの要望の状況

年 月 日	内 容
令和3年 1月7日	「松川町商工会」から町に要望書
1月27日	「町内小中学校の保護者会長並びに学校長」から町に要望書
2月15日	「松川町の町政を考える町民会議」から町に要望書
2月24日	「松川町女性有志の話し合いの会」からJR東海に要望書
3月1日	「新井北部自治会」から町に要望書

●町からJR東海への要望の検討

年 月 日	内 容
令和3年 1月15日	松川町議会リニア対策特別委員会
2月4日	松川町議会リニア対策特別委員会
2月10日	松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会（第13回）

◎町からJR東海へ要望書の提出

年 月 日	内 容
令和3年 3月11日	町長から古谷担当部長へ『発生土運搬に関する要望書』を手渡す

要 望 書

リニア中央新幹線の開業は、経済の活性化、交流人口の拡大など、当地域の発展に大きく寄与することが期待されています。しかしながら、現在計画されている大鹿村からのトンネル工事に伴う発生土運搬に関し、これまでの貴社からの説明に対し、当町の住民並びに各団体等から、通行の安全等に関する不安や住民生活、地域経済への悪影響を懸念する声が強く寄せられていることはご承知のとおりと存じます。

つきましては、住民の安心安全と平穏な生活等を守るため、発生土の運搬ルートについて、次のとおり要望いたします。

記

- 1 県道松川インター大鹿線の上新井交差点から東浦交差点までの間は、当町の中心市街地を通過する道路であり、住民生活や地域経済へ及ぼす影響が多大であるため、当該区間の通行台数の低減を図ること。
- 2 説明会で示された運搬ルートのうち、片桐松川沿いの町道は国土強靱化対策として常に確保すべき路線であることから、ダンプの通行はもとより住民が安心して通行できる道路として整備を行った後に運搬を開始すること。

- 3 上記1, 2を踏まえた具体的な運搬計画を早急に示し、地域住民及び関係機関の同意を得ること。

- 4 運搬に使用する道路の安全対策や修繕等について、事前に町及び関係機関と協議すること。

令和3年3月11日

松川町長 宮下 智博